



2024

学校だより 本荘 Smile

令和6年度 第38号
令和6年 12月6日
熊本市立本荘小学校
校長 西川 英臣

中学校での会議と子育て支援ネットワーク 2学期アラカルト③

【中学校の先輩の姿を見てきました】



この写真は、10月21日に江原中学校で行われました「物品検討会」の様子です。参加者は、中学校の学校評議員さん、PTA会長さん、役員さん、そして小学校の校長でした。生徒側からは、生徒会長、副会長の3人が参加してくれました。写真を見てお気づきの方もおられるかもしれませんが、生徒会長と副会長の1人は、本校の卒業生なのです。生徒会長は、2年生の高宮かりんさん。副会長は、同じく2年生の山崎彩笑さんです。

2人とも小学校在学時代からお勉強もスポーツも太鼓部も下級生のお世話もがんばる真面目な子どもたちでしたが、立派に育った姿を見て、感無量の校長先生なのでした。やはり、「一生懸命はかっこいい」のです。

物品検討会では、中学校生活に必要なかばん、バッグ、靴、制服などについて意見が交わされました。私たち大人も意見を交換し合ったのですが、さすがだなと思ったのは、かばんの使い方や困ったことなどを聞かれたときに参加した生徒会長さんたちが、理路整然とした受け答えをしていたということです。そして、制服や学校指定のかばんのよさを語ってくれたのでした。この年頃になると、自由だけを求めて、学校指定のバッグなどに対

して否定的な考えを持つことも少なくない年頃なのですが、参加した大人にわかるように、今使っているかばんの長所と短所を述べていました。こんなこともたちが大人になった時は、さらに建設的な論じ合いができる大人になるだろうと感心した次第です。さらに言えば、本校の卒業生が、中学校で活躍している姿は、大変励みとなりました。自慢の卒業生たちです。

在校生のみなさんも、ぜひ先輩たちに続いて活躍してほしいと心から思った校長先生でした。

【子育て支援ネットワーク会議】



10月24日には、本校で「子育て支援ネットワーク会議」が開催されました。この会は、校区の社会福祉協議会が地域の子育て支援の一環として開催されていたものです。現会長さんのご厚意により、その回数を増やし、より地域の子育てに関する悩みや困り感に対応していこうと趣旨のもと開かれています。

参加者は、社会福祉協議会の方、小中の校長、校区内の保育園の園長先生、育成クラブ、保健子ども課、自治協議会、そして市教委の先生方です。今回は小規模特認校の関係もあって、学務支援課と教育改革推進課からも参加していただきました。（裏面に続きます）

会の中では、各園・各校の子どもたちの様子や保護者の方で子育てに悩みを持っておられる事例などをあげながら、地域としていかに、子どもたちを支援していくかについて情報交換が行われました。

小学校の校長として参加しながら、地域の方々の学校や園に対する思い、本校区でくらす子どもたちへのやさしさを感じることができて、感謝の気持ちでいっぱいになりました。こういった地域の力を学校運営に取り入れて、よりよい学校づくりをしていくことが校長の責務なのだと改めて、気を引き締めた校長でした。また、そういった地域を支える行政の方々、教育委員会の方々のお力もありがたいと思った次第です。

本荘校区は、地域の力に恵まれています。ですから、これからも「地域に開かれた学校運営」「子どもも教師もかいても地域もみんな笑顔の学校づくり」に挑戦し続けたいと誓った校長なのでした。(校長)

校長先生の虫眼鏡 「低学年体育ボールゲーム」

みなさん、低学年の時の体育の思い出ってありますか。どんな体育をやっていたか思い出せますか？(笑)いまの1, 2年生はこんな体育をしています。時代の変遷とともに体育の内容も刻々と変化するのです。

